

北区自治協議会 会議概要

平成 30 年度 第 4 回 北 区 自 治 協 議 会	
開催日時	平成 30 年 7 月 19 日 (木曜) 午後 3 時 10 分～午後 4 時 20 分
会 場	豊栄地区公民館 2 階 大講堂
出席者	<p>委 員</p> <p>倉島敏弘、松田正實、赤間松次、阿部康夫、山賀好郎、若月則子、渡邊正廣、渡邊正之、阿部淳一、川居栄子、曾我美智緒、高口和則、高橋正寿、村中美和子、梅津玲子、本間久文、阿部恵美子 計 17 人 (欠席：五十嵐隆吉、本間藤雄、五十嵐紀子、上松鉄雄、内川えつ子、川島朝臣、工藤真美、後藤静枝、小林啓一郎、真壁麻優、阿部美恵子、岡昌子、若尾明弘) * 敬称略</p>
	<p>事務局等</p> <p>〔北区役所関係〕 区長、副区長兼地域総務課長（以下「副区長」）、区民生活課長、健康福祉課長、産業振興課長、建設課長、北出張所長、北区農業委員会事務局長、下水道室長、消防局北消防署長、北区教育支援センター所長、豊栄地区公民館主査、地域総務課長補佐（2 人）、課員 5 人 計 19 人</p>
内 容	<p>1 開会</p> <p>2 報告事項</p> <p>(1)平成 31 年度特色ある区づくり事業（委員提案分）について ◎報告資料 1 に基づき、梅津委員より説明が行われました。 【主な質問・意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大変よい提案だと思う。仙台市の調査では、子どもたちの学ぶ意欲を向上させるには、学校の教師が意欲的であることよりも、家庭で朝ごはんを食べ、会話をする環境こそが大事だという結果が出ていた。ところが子育て世代の親の姿を見ていると、子どもの傍にいてもずっとスマートフォンをいじる姿が多く見受けられ、心配であった。</li> </ul> <p>(2)地域における危険箇所の総点検について ◎報告資料 2 に基づき、北区教育支援センター所長が説明を行いました。 【主な質問・意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・危険となる箇所には、犯罪によるものと災害や事故によるものが考えられる。小学生が亡くなった大阪の地震によるブロック塀の倒壊事故を受け、災害や事故に伴う危険箇所も、今回の点検に含まれるのか。双方の点からの点検が有意義と思われる。検討していただきたい。 →公的施設については、犯罪防止だけでなく災害や事故に伴う危険性について</li> </ul>

内 容

ても公的施設を一斉に点検し、その情報を入れた安全マップを作成する。ただし、私的所有物等についてはプライバシー侵害の恐れがあるため、別に記録、管理し、安全マップには落とさない可能性もある。

- ・危険箇所が指摘されても、それをいつまでに改善するのか、目途が示されないと、いつまでも改善されないままになるのではないか。実践の方が重要である。

→市内の公的施設のブロック塀等の危険箇所については、夏休み中に改善される予定であるが、その他の改修、改善等については、国の関係各省庁が検討しており、安全マップを生かし優先順位をつけて対応していく。

防犯カメラの設置については、地域活動補助金が受けられることについてこの後、説明がある。

- ・総点検の調査結果は、学校に通う児童や保護者以外の地域の自治会等には知らされないのか。どのように点検結果を活用していくのか。公共施設以外にも、個人宅のブロック塀等が危険なところもあり、可能な働きかけが地域でできる場合もある。

→総点検の結果は、警察や行政等、複数の機関で対応策を考えていく。

例えば、通学路の脇に危険なブロック塀があり、それが個人の所有物で、所有者が対応してくれない場合には、通学路の変更を検討する等の方法もある。安全マップが完成した後は、危険箇所について地域で共通認識を持ってもらうため、児童のいる全世帯や自治会等への配布を検討している。詳細が決まり次第、お知らせする。

### (3) 子どもの見守り活動に対する緊急補助について

◎報告資料3に基づき、副区長が説明を行いました。

- ・校区が広い中学校の通学路には、現在1キロメートル間隔で設置された防犯灯を増やしてほしいという要望が挙がっている。防犯灯の設置費用は、かつて新潟市が全額補助していたが、その後自治会の費用負担とされたため、電球交換等の費用が発生している。新たに防犯灯を設置するとなると、自治会の出費が増えて大変なので、全額市で補助してもらえないものか。

→防犯灯あるいは街灯について、自治会地域内は自治会で費用負担をすることになっているが、地域間の街路灯であれば、新潟市の負担で設置できるため、設置希望箇所について個別に相談いただきたい。

- ・防犯カメラの購入は自治会で行い、半額補助されるということだが、カメラを設置する効果はその自治会内にとどまらない。全額を新潟市、あるいは警察との共同で、計画的に設置していく方法はないものか。

→市の方針としては、公共施設については市が負担して防犯カメラを設置するが、通学路等の道路については各自治会で半額負担して設置することになっている。警察が防犯カメラを設置する動きは見られない。

- ・各町内の資金状態には差があるため、資金のある自治会は防犯灯を設置できても、資金のない自治会は設置できないという格差が生じる。何か良い方法

	<p>はないものか。</p> <p>→現在は、防犯灯の設置は地域の自治会で行っていただいている。一年に多くの防犯灯を設置するのが難しくても、長期的な計画の中で設置していくことも検討いただきたい。今年度の防犯灯の緊急設置については、5月末で一旦申し込みを締め切ったが、今後も適宜相談をお受けしたい。</p> <p>(4) 部会の会議概要について</p> <p>◎各部長から報告資料4に基づき、説明が行われました。</p> <p>→質問や意見等はありませんでした。</p> <p>3 その他</p> <p>◎次回協議会は8月16日（木曜）、午後1時30分から市長との懇談会、その後午後3時頃から、第5回北区自治協議会を開催 会場は豊栄地区公民館</p> <p>4 閉会</p>
傍聴者	0人
会議資料等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度 第4回北区自治協議会次第</li> <li>・報告資料1：平成31年度特色ある区づくり事業（委員提案分）について</li> <li>・報告資料2：地域における危険箇所の総点検について</li> <li>・報告資料3：子どもの見守り活動に対する緊急補助について</li> <li>・報告資料4：北区自治協議会 部会会議概要</li> </ul>